

9/9 クムフラ、ケアラ・チン氏が案内するプウコホラ・ヘイアウ国立歴史公園

ハワイ島のサウス・コハラにある、戦いの守り神「クー カ イリモク」に捧げるために建てた巨大なヘイアウ（祭祀場）をクムフラであるケアラ・チン氏に特別に案内、ワークショップをしていただきました。ケアラ・チン氏によるオリ（詠唱）で始まったワークショップでは、プウコホラの歴史、その土地に纏わる言い伝えなどを伺うことができました。



■まずはプウコホラの歴史についてケアラ氏に教えていただきました。参加者のみなさんは真剣な眼差しでお話に耳を傾けています。

■次に神様へ捧げるホオクプ（お供え物）の製作ワークショップ。中身はタロイモ、スイートポテト、ウル（パンの実）、ドライ・アク（乾燥した魚）、ハワイアンソルトをティーリーフで包みます。



■ホオクプは海へと返しました。ケアラ氏の守護神はホヌ（亀）ということで、ホヌが食べやすいようにひとつひとつ丁寧にちぎって海へ返していたのが印象的でした。

■みんなで作ったホオクプを祭壇へと捧げに行きました。捧げる前にはケアラ氏に教えていただいたオリ（詠唱）を唱えます。

■全員で各お供え品を心を込めてティーリーフに置いていきます。

9/9 コアの苗木植樹体験ツアー

マウナケアの麓にあるカメハメハ大王（王族）の所有地であった土地でハワイの固有種、ハワイ文化を支える植物として大切にされているコアの苗木の植樹体験を行いました。荘厳な場所で神聖なコナを植樹ができる、貴重な体験でした。



■植樹前にホノカアタウンに立ち寄りランチタイム♪オーガニックフード中心にヘルシーなランチにお腹を満たします。

■アングル・アールがウクレレ演奏 思わず参加者がフラを踊り出してしまうほど、うっとりした音色を披露してくれました。

■四輪駆動車に乗り込みレッツゴー！ 険しい道をどんどん進み植樹場所へと向かいます。



■霧雨の幻想的な雰囲気の中でアングル・アールと親しまれる、アール・レジドール氏よりハワイアンとしての価値観をお話いただきました。

■ひとりずつ丁寧にそれぞれの想いを込めてコナの苗木を植えます。最後にイブに入った水を注ぎました。感動し、極まって涙される参加者もありました。

9/10 カアナパリビーチホテルで「カパ」ワークショップ体験

「ハワイで一番ハワイらしいホテル」と謳われているカアナパリビーチホテルでポオケラ&トレーニングディレクターとして活躍されているアリカ・グエレロ氏の指導のもとハワイ伝統工芸「カパ」作りの工程を学びました。参加者には実際に、カパの工程の説明を受けることでその大切さを知っていただく機会となりました。



■ ホテルの中庭にあるハワイ文化と関わり深い植物について紹介していただきました。カパに使用されるワケアの若木も発見。

■ ワケアの枝の表皮をを貝殻で削り、内側の皮をむきます。皮がむけたら、水に数週間つけて柔らかくします。ホホアと呼ばれる木の棒で叩き、長く薄くします。参加者も破れないように、均等な幅で伸ばしていくように慎重にトライ！



■ 最後にそれぞれが意味するデザインを各自が発表。カパは旅の思い出として大切に持ち帰っていただきました。



■ 乾いたカパに色づけをします。幾何学模様などのたくさんあるデザインの中から組み合わせます。

9/11 モロカイ島日帰りツアー

早朝にマウイ島からチャーター機でモロカイ島へと出発。モロカイ島ではハラヴァ渓谷で文化継承活動を行っている地元民である、グレッグ・ソラトリオ氏からハラヴァ渓谷の歴史や、ハワイアンライフスタイルを学びました。また、ポイパウンドのデモンストレーションを行っていただきました。なかなか行くことのできないモロカイ島体験を満喫しました。



■ 朝日を浴びながらチャーター機でモロカイ島へ！



■ ポイの作り方を学びました。タロ芋を蒸し、2種類の重さの違うポイパウンダーを使いわけてなめらかになるまで潰していきます。作りたてのパイアイ（水で溶かす前の状態）は絶品でした！



■ ハラヴァ渓谷の道中に聖ヨセフ教会とダミアン神父像も見学

■ 渓谷内をグレッグ氏が案内してくださいました。敷地内に入る時にオリ（詠唱）から始まり、参加者全員がひとりずつ鼻と額を合わすハワイの伝統的な挨拶を交わします。